

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達支援 サガセルキッズ		年 月 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	運動室ではのびのびと活動できるよう広いスペースを設けています。また、集中して取り組めるよう個別室も準備しております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	基準通りの配置をしております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3	運動や言葉の練習、机上課題など、取り組む活動内容によって空間を変えています。	トイレの柱の角度等、児童向けではない環境設定がいくつか見られるため、改善していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日、清掃や使用した物の消毒を行っており、活動内容によって部屋を使い分けています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	必要に応じて個別室を使用しております。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	2	日々の支援で気づいた点や改善点があった際には、職員全体で情報共有をし、共通理解を図っています。	その場では「こうしたほうがいい」と意見が出たこともあるが、計画を立てて遂行出来ておらず、役割以外でそれぞれが参画することは少ない印象という意見があったため、今後その場で意見が出た際には、計画をして実行できるよう努めてまいります。また、ミーティングの時間を取ることが難しいため、月一回程の話し合いの機会を設けられると良いという意見もあったので、検討していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	年一回の評価を行った後は、改善点について話し合いを行っております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	必要に応じて話し合いの時間を設けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		現在、外部評価を行っていませんが、必要に応じて今後検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	事業所内で定期的に研修を実施しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	事業所内で話し合って作成し、HPに載せています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	アセスメントや見学時の聞き取りや様子を参考に作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	空いている時間にミーティングを実施し、職員全体で検討しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	児童発達支援計画が決定した際は全職員で確認し、その子に合った支援をしております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	見学時に、保護者様にお子さまについてのアセスメントシートを記入頂いております。	インフォーマルアセスメントは出来ているが、フォーマルなアセスメントはまだ日常化できていない為、今後検討していきます。運動や言語だけでなく、日常生活や遊び、他者とのかかわり等、多面から評価していけるよう検討していきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	誰が読んでも共通理解を図ることができる分かりやすい言葉で本人支援を計画しております。	「家族支援」は状況によりますが、「移行支援」や「地域支援」は、考慮しきれていない場合もあるため、今後見直していきたいと思っています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	保育士、療法士中心に行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	同じ曜日に続けて同じ活動プログラムを入れないよう考えながら、活動プログラムのカレンダーを作成しています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	子どもの状況に応じて支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	0	5	日案を通じて、その日の行われる支援や内容、役割分担を確認しております。また、イベントがある際はタイムスケジュールを作っています。	全体が揃って話せる時間が取れなく、支援前のミーティングが送迎の関係で難しい為、空いている時間に話し合いの場を設けられるよう検討しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	0	5	送迎終了後、気づいた点があった際は共有する時間を設けています。	毎日、全体での振り返りが行えていない為、空いている時間に話し合いの場を設けられるよう検討していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	日々の支援で気になることがあった際は、共有を行い、より良い支援を検討しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	空いている時間でのミーティングにて実施しています。また、児童発達支援計画の見直しは半年に一回必ず行っております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	2	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にはまだ参加しておりませんが、モニタリング時に児童の様子についてお伝えする時間をもうけています。	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議の開催について、必要に応じて検討していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	早期療育支援センターと連携して、児童の受け入れ・見学を行っております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	同系列の放課後等デイサービスがあるので、保護者に向けて移行について説明しております。また、移行したいという要望がありましたら、管理者と共に見学に行ったりなど、安心した移行が出来るよう取り組んでいます。	インクルージョン推進の観点から支援について今後検討していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	5		まだ絶対数が少なく、就学後の学校のつながりは、児童発達支援からは印象という意見があった為、必要に応じて今後取り組みんでいます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	1	4		必要に応じて今後検討していきます。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		必要に応じて今後検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時や面談、連絡帳を通して子どもの状況を聞いたりお伝えしています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	療法士による保護者様に向けた研修を実施し、個別でもアドバイスを行っています。	
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に管理者が行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	児童発達支援計画書を作成・更新する際は、面談を行っています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	面談時や送迎時に管理者が説明をし、同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	面談のほかに、送迎時や連絡帳を通して助言や支援を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	年に一回、夏まつりを開催し、交流の場を設けています。	

説明等	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	相談・申し入れがあった場合は、迅速かつ丁寧な対応ができるよう、努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	月に一回、活動内容に関するカレンダーを配布しています。また、定期的にインスタの投稿をしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	お子さまの写真をSNSに載せるにあたって、契約時に肖像権使用の同意を確認しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	絵カードや一日のスケジュール表などを使用した視覚支援を行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0		まだ実施しておりませんが、必要に応じて実施していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	各マニュアルを作成し、年二回避難訓練を実施しております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	年二回児童と共に避難訓練を実施しております。	避難訓練は行っているが、業務継続計画を策定しているかは把握していないという意見があった為、全体で再度確認を行っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	アセスメントで確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	アセスメントで確認しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	定期的に様々な想定で避難訓練を計画し、実施しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	避難訓練をする際は、カレンダーにてお知らせしています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハットを作成した際は、その都度事業所内で共有し、保管しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	定期的に研修を実施しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	法人内で虐待防止・身体拘束に関する会議を開催しています。	身体拘束の対象者がいませんが、今後対象者がいましたら、検討していきたいと思います。